

# 平成20年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	「千葉県仕事の学び場」事業		
法人名	社団法人 千葉県専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	会長 秋葉 英一	担当者 連絡先	二階堂 卓寿 043-243-3147

## 1. 事業の概要

高等学校生、中学校生が具体的な職業についての理解を深めるために、さらに生徒それぞれが確実な「就労感」を育成し、専門学校が実施している職業教育の一端を経験していただくため千葉県下の専門学校において職業体験講座を開設する。

講座企業・施設等での実習等をおこなうことで職業教育を体験するのも一方法と思えるが、そのような場では教育的な配慮も少ないために、系統だった基礎的な知識・技術・技能を持ち得ない中での実施となるために、得られるものも少ないと思われる。専門学校を利用した職業教育の体験講座は、職業の実際的な内容を知り、体系的な体験するだけでなく、その業界全体の仕事の内容を知ること目標としている。

職業体験講座の実施を希望する協会加盟の専門学校、各種学校に協会が呼びかけ、実施校を募った。その取りまとめを協会がおこない、開講講座一覧の冊子を発行し、県下の高等学校進路指導部を通じて配布して、受講する高等学校生を募集し、各専門学校にて職業体験講座を実施した。

## 2. 事業の評価に関する項目

### ① 目的・重点事項の達成状況

専門学校が実施している職業教育の一端を、高等学校生、中学校生が具体的な職業についての理解を深めるために、さらに生徒それぞれが確実な「就労感」を育成するために、実施を希望する協会加盟の千葉県下の専門学校及び各種学校68校に協会が呼びかけ、実施校を募った。その結果、19校26講座の応募があり、開設した。

参加応募者は26高等学校より115名であったが、欠席者もあり最終的には109名であった。講座もすべて開講したわけでもなく、受講生がいなく不成立であった講座が6講座ある。

### ② 事業により得られた成果

講座実施終了後に、プログラム実施校(専門学校)担当者、受講生を送り出した高等学校担当者及び受講生にアンケートを実施した。結果として事業の目的である「就労感育成」は成功したものと言えよう。(詳しくは実施報告書を参照いただきたい。)

#### ● プログラム実施校(専門学校)担当者

95.0%が目的である「就労感育成」を達成できたと思うと回答を、90.0%の受講生が理解したであろうと回答している。

#### ● 受講生を送り出した高等学校担当者

100%もが「就労感育成」の目的に沿った事業であったとの回答を、95.0%が受講した結果、受講生が理解したとの回答を、95.0%が受講生の「就労感育成」に役立ったと思うとの回答を得た。

#### ● 受講生

88.5%が参加して良かったと回答を、92.0%が将来の仕事を考える上で役に立ったと回答をしている。

以上のアンケート結果により、事業の目的とした「就労感育成」は、受講生が少ない、不成立の講座があるなどの問題はあっても、達成されたものとする。

### ③今後の活用

4日間ないし5日間の実施であったが、単なる体験学習だけでは不満足である。実際に磨かれ系統だったカリキュラムになっているのか検証が必要であろうと考えている。実際に就職する企業、施設等がどのような人材を抱えて運営されているのかなど、職場での人材配置、それらの人材の必要とされている知識・技能・技術などの理解も必要と考える。就職する業界の動向等も理解しておく必要がある。それらをどのように講座実施校に伝え、具体的なものとしていくことが必要であろう。

最終的に、5日間の講座として、教育庁とも相談して高等学校、中学校の単位のひとつとして認めていただくように活動したい。そのためには、カリキュラムを磨くことが先決であるが、第1日目にはテキストを用意して企業・施設にはどのような人から成り立っているのか、また業界の動向などを理解させるための1日とし、最終日には企業等の実際の現場見学を行い、より確実な職業への理解を含めていくことを実現したいと考えている。

### ④次年度以降における課題・展開

単に体験学習だけでないように系統だったカリキュラムを磨くことを講座開設校に求めたい。まずは、最終日に実際の企業・施設見学を実施していただくことを求めていきたい。第1日目の利用法も研究を進めたいと思っている。

高等学校側の多大なる協力により成立している事業なので、さらに高等学校にご理解いただけるように努力したい。高等学校等の単位として考えるならば、教育庁の理解とともに、早期に開設講座を講評する必要がある。準備を早めていくことも必要となろう。

昨年度までは専門学校の完全なボランティアで実施されていたが、本年度の講座開設運営は県のご理解もあり、実施する学校には経費の半額程度の補助もいただいたので、次年度も予算の利用を切り分けて、齟齬の無いように実施する。

## 3. 事業の実施に関する項目

### ①職業体験講座、講演会の実施

仕事の学び場 申込・受講者数一覧

No. プログラム名 学校名 日程 (申込者数、受講者数)

自動車整備

01 自動車整備業界と自動車整備の仕事について (専)中央自動車大学校 7月14日(月)~17日(木) (不成立)

02 自動車整備士のしごと 専門学校千葉県自動車大学校 8月19日(火)~22日(金) (4名、4名)

03 自動車を総合的に学ぼう 日本自動車大学校 8月4日(月),5日(火),26日(火),27日(水) (5名、5名)

建築

04 建築・インテリアの仕事について 国際理工専門学校 7月28日(月)~31日(木) (不成立)

コンピュータ

05 Webアニメーション・プログラミングの授業 国際理工専門学校 7月28日(月)~31日(木) (8名、8名)

06 コンピュータ、ネットワークの世界を体験しよう 千葉情報経理専門学校 8月4日(月)~8日(金) (1名、1名)

07 コンピュータネットワークとセキュリティ技術体験 船橋情報ビジネス専門学校 7月22日(火)~25日(金) (4名、3名)

理容美容

08 トータル美容の仕事を学ぼう ユニバーサルビューティーカレッジ 7月19日(土),23日(水)~26日(土) (6名、6名)

09 美容の仕事はトータルビューティーの創造 東洋理容美容専門学校 7月23日(水)~26日(土) (4名、4名)

10 美容の面白さを知ろう 千葉美容専門学校 7月28日(月)~8月1日(金) (10名、10名)

11 理容師の仕事の本質を知ろう 千葉理容専門学校 8月4日(月)~8日(金) (不成立)

12 美容は美しく 奥深く 楽しい パリ総合美容専門学校 7月22日(火)~25日(金) (2名、2名)

保育

13 保育士の職業理解 成田国際福祉専門学校 8月4日(月)~8日(金) (6名、6名)

14 幼稚園教諭・保育士への道 千葉女子専門学校 7月22日(火)~25日(金) (17名、15名)

福祉

15 一人ひとりの思いに沿った介護 成田国際福祉専門学校 8月4日(月)~8日(金) (9名、7名)

16 福祉って超魅力的!! 専門学校新国際福祉カレッジ 8月19日(火)~22日(金) (7名、7名)

ビジネス

17 病院事務の職業理解 成田国際福祉専門学校 8月4日(月)~8日(金) (不成立)

18 医療事務の仕事ってどんなことをやるの? 大原簿記法律専門学校津田沼校 8月4日(月)~7日(木) (5名、5名)

19 感謝される仕事 医療事務 千葉情報経理専門学校 7月28日(月)~8月1日(金) (2名、2名)

20 企業家になって『夢』を実現しよう 千葉情報経理専門学校 8月4日(月)~8日(金) (不成立)

公務員

21 公務員って何だろう? -公務員の職業理解- 大原簿記法律専門学校津田沼校 8月4日(月)~7日(木) (9名、8名)

ファッション

- 22 ファッションビジネス人材養成の授業体験 船橋ファッション&ビジネス専門学校 7月22日(火)～25日(金) (6名、6名)  
23 ファッション界の楽しさを学ぼう！ 千葉モードビジネス専門学校 7月30日(水)～8月1日(金),4日(月) (1名、1名)  
24 ファッション業界研究とソーイング実習 市川ドレスメーカー専門学校 7月24日(木)～26日(土),28日(月) (1名、1名)

デザイン

- 25 デジタルで広がる「広告」基本テクニック 千葉情報経理専門学校 8月4日(月)～8日(金) (不成立)

動物

- 26 動物分野の仕事とは 東京動物専門学校 7月28日(月)～31日(木) (8名、8名)

合計(115名、109名)

参加学校名 (申込者数)

千葉県立船橋豊富高等学校 (21)、千葉県立松馬橋高等学校 (1)、千葉県立船橋北高等学校 (6)、  
千葉県立東金高等学校 定時制課程 (2)、千葉県立実籾高等学校 (6)、千葉県立市原八幡高等学校 (4)、  
千葉県立佐倉東高等学校 (1)、千葉県立八千代東高等学校 (2)、千葉県立柏の葉高等学校 (5)、明聖高等学校 (2)、  
千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 (3)、千葉経済大学附属高等学校 (2)、千葉県立浦安高等学校 (1)、東葉高等学校 (1)、  
千葉県立松尾高等学校 (5)、千葉県立千葉商業高等学校 (8)、千葉県立匝瑳高等学校 (1)、  
千葉県立仁戸名特別支援学校 (1)、千葉県立津田沼高等学校 (1)、千葉県立沼南高等学校 (1)、  
中山学園高等学校 (19)、千葉県立船橋二和高等学校 (3)、千葉県立八街高等学校 (4)、千葉県立多古高等学校 (1)、  
千葉聖心高等学校 (7)、千葉県立東総工業高等学校 (4)、一般 (3)

実施委員会(2回開催)

7月23日(水) きぼーる13階 特別会議室 (委員6名、事務局3名) 委員紹介・本委託事業の説明・意見交換・その他  
3月5日(木) きぼーる13階 特別会議室 (委員6名、事務局3名) 平成20年度事業報告・平成21年度事業計画・意見交換・その他

説明会(3回開催)

7月23日(水) 千葉興業銀行千葉支店ビル7階 ちば興銀千葉支店ホール  
専門学校向け説明会 (委員3名、事務局3名、参加者37名)  
3月3日(火) 千葉県私学会館5階 会議室  
専門学校向け説明会 (委員3名、事務局3名、参加者25名)  
3月5日(木) 千葉興業銀行千葉支店ビル7階 ちば興銀千葉支店ホール  
高等学校向け説明会 (委員3名、事務局3名、参加者34名)

参加者の反応 (詳しくは実施報告書をご覧ください。)

● プログラム実施校(専門学校)担当者

95.0%が目的である「就労感育成」を達成できたと思うと回答を、90.0%の受講生が理解したであろうと回答している。

● 受講生を送り出した高等学校担当者

100%もが「就労感育成」の目的に沿った事業であったとの回答を、95.0%が受講した結果、受講生が理解したとの回答を、95.0%が受講生の「就労感育成」に役立ったと思うとの回答を得た。

● 受講生

88.5%が参加して良かったと回答を、92.0%が将来の仕事を考える上で役に立ったと回答をしている。  
以上のアンケート結果により、事業の目的とした「就労感育成」は、受講生が少ない、不成立の講座があるなどの問題はあつたものの、達成されたものと考えられる。

②その他

社団法人神奈川県専修学校各種学校協会の先進的な活動があつたらからこそ、千葉県においても実施できたものと思つております。深く感謝するものです。

また、高等学校進路指導部会のご支持とご支援があつたので実施できたもので、特に受講生募集については多大な努力をいただきました。感謝申し上げます。

高等学校関係者との友好的な関係が今回の事業の成功につながっているものと考えます。それと地道に実施してきており、ようやく4日ないし5日のカリキュラムでの実施となりました。あまり性急に高望みせず、それぞれのプログラム実施校でご努力いただき築かれたものです。